

※太枠内はすべて記入してください(両面とも)

学校申請用・一般

※必ず記入

兵庫県知事 様

Ⓐ

記載日 令和4年 月 日

令和4年度兵庫県私立高等学校等奨学給付金支給申請書 (兼受給資格認定申請書)

次の7点を確認のうえ、すべての口にレ点を付けてください (いずれかにレ点が無い場合は、支給できません)。

- この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。
- この申請書に虚偽の記載があった場合は、兵庫県の求めに従いその全額を即時返還します。
- 私は兵庫県以外の都道府県に高校生等奨学給付金(奨学のための給付金)の申請は行っておりません。
- この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費(見学旅費又は特別育成費(母子生活支援施設の高校生を除く))の支弁対象ではありません。
- 私は、私立高等学校等奨学給付金の申請にあたって兵庫県に対して行う手続の一切(申請、請求、受領等)を学校設置者に委任します。
- 私は、学校設置者が兵庫県から受領した私立高等学校等奨学給付金を授業料以外の学校納付金債権に対して、相殺することに同意します。
- 私は、私立高等学校等奨学給付金の申請に必要な範囲において、学校及び兵庫県が保有している当該生徒及び親権者等の個人情報を利用することに同意します。

令和4年度兵庫県私立高等学校等奨学給付金の支給を受けたいので、必要書類を添えて申請します。

※必ず記入

申請者住所	兵庫県		
ふりがな		電話番号	
申請者氏名		電子メール	
対象生徒との関係 (○で囲む)	親権者・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者・生徒本人・その他( )		

【対象となる高校生等について】

ふりがな		生徒の生年月日	(昭和) 年 月 日
生徒氏名		生年月日	平成 年 月 日

※上記内容に変更がある場合は、「兵庫県私立高等学校等奨学給付金支給申請変更届出書」を提出してください。

生徒の住所	<input type="checkbox"/> 申請者と同じ	都道府県	市区町村
生徒が在学する学校の状況	学校の名称	本校所在都道府県	学校の種類・課程・学科
入学年月日	平成・令和 年 月 日	全日制・定時制 通信制・専攻科	なし 1回 2回 3回 4回 5回 不明
過去の高等学校等の在学状況 (該当の場合のみ)	学校名	年 月 日 ~ 年 月 日	学校の種類・課程・学科
	立		全日制・定時制 通信制・専攻科

【申請する支給額】

※いずれか該当する欄に○を記入

○を記入	支給額	課程	該当する区分	県記入欄
<input type="checkbox"/>	52,600円	全日制 定時制 通信制	生活保護(生業扶助)受給世帯の高校生等 ※高等学校等専攻科に在籍している生徒を除く	
<input type="checkbox"/>	52,100円	通信制 専攻科	令和4年度市町民税所得割額と県民税所得割額の合算が0円の世帯(保護者等全員の合算) 対象生徒が通信制高校、高等学校等専攻科に在籍している	
<input type="checkbox"/>	134,600円	全日制 定時制	令和4年度市町民税所得割額と県民税所得割額の合算が0円の世帯(保護者等全員の合算) 下記以外の場合	
<input type="checkbox"/>	152,000円	全日制 定時制	令和4年度市町民税所得割額と県民税所得割額の合算が0円の世帯(保護者等全員の合算) 保護者等に扶養されている、 ①2人目以降の高校生等 又は ②15歳(中学生を除く)以上23歳未満の保護者等に扶養されている兄弟姉妹(高校生等を除く)がいる高校生等	

**H** 【保護者等(専攻科の場合は生計維持者)の収入の状況について】

**学校申請用(一般)**

おもて面の申請区分に応じて、次の(1)~(3)のいずれかの欄にレ点を入れるとともに、※欄も記入してください。

(1)生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助(高等学校等就学費)受給証明書(7/1現在)を提出します。

①  生業扶助(高等学校等就学費)受給証明書

(2)次の者の課税証明書等を提出します。(①から⑥までのいずれかの欄にレ点を付けてください。)

- ①  親権者(両親)2名分  
 ※親権者が2名存在する場合、親権者の一方が控除対象配偶者であっても必ず2名分の課税証明書等が必要です。  
 親権者1名分  
 (親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長、児童福祉施設の長である場合は、その者を除く。)  
 ※ア、イ、ウいずれかの□にレ点を入れてください
- ②  ア  離婚、死別等により親権者が1名の場合  
 イ  親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を提出できない場合等  
 (この場合の家庭の事情とは、ドメスティック・バイオレンス、養育放棄等の事情が存在する場合が該当します。)  
 ウ  (専攻科のみ)満18歳となる日の前日において里親等に委託されていた場合、児童養護施設等に入所していた場合、そのほか社会的養護が必要と認められる場合は⑤又は⑥のいずれかの□に✓印を付けてください
- ③  未成年後見人( )名分  
 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分)  
 (未成年後見人が、法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。)
- ④  生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者) (両親等)2名分  
 ④  生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合  
 主たる生計維持者1名分  
 ・生徒が未成年だが、親権者又は未成年後見人が存在しない場合、  
 ・入学時点で生徒が成人であったが、主たる生計維持者が存在する場合、  
 ・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者が1人だった場合、  
 ・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者又は未成年後見人が存在しなかった場合 等
- ⑤  生徒本人  
 ⑥  親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合 等

(3)次の理由により、課税証明書等を提出しません。

所得確認の対象が生徒本人(親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合)であるが、未成年で市町村住民税所得割を課されるだけの収入を得ていない場合

**I** ※上記(2)又は(3)の場合には、下記内容を確認のうえ、□にレ点を付けてください。

私の世帯は、7月1日現在、生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助を受けていません。※必須項目

**J** 【扶養親族等の状況について】枠内に対象生徒及び及び対象生徒以外の高校生等及び15歳以上(中学生は除く)23歳未満の兄弟姉妹を記載してください。

内容を確認のうえ、下記の□にレ点を付けてください。  
 私は、令和4年7月1日現在、下の表に記載の者を扶養しています。

続柄	名	前	生年月日(年齢)	職業・学校名・学年等	奨学給付金の申請の有・無	申請額
対象生徒及び兄弟姉妹の状況	本人(対象生徒)					
	兄・弟		昭和 平成 年 月 日 ( 歳 )		有・無	円
	姉・妹		昭和 平成 年 月 日 ( 歳 )		有・無	円
	兄・弟		昭和 平成 年 月 日 ( 歳 )		有・無	円
	姉・妹		昭和 平成 年 月 日 ( 歳 )		有・無	円

※ 対象生徒以外の高校生等については、必ず学校名、学年とともに、奨学給付金の申請内容(申請の有無及び申請額)を記入してください。申請有の場合は、申請書の写し(両面)を添付してください。

※ 「続柄」欄は対象となる高校生等を基準とし該当区分に○を入れ、「年齢」は7月1日現在で記入してください。

※ 対象生徒及び対象生徒以外の高校生等及び15歳以上(中学生は除く)23歳未満の兄弟姉妹を記載してください。

※ 記載した全員分の住民票(在寮証明でも可)及び健康保険証の写し(生活保護(医療扶助)を受けており、健康保険証を有していない場合を除く)を添付してください

<申請前に再度確認し、レ点を入れてください>

記入漏れはありませんか?

添付書類の漏れはありませんか?

- 住民票
- 保護者の収入を証明する書類(世帯全員分)
- 健康保険証のコピー(生活保護世帯除く)
- 在学証明書
- 兄弟姉妹の奨学給付金支給申請書のコピー
- 通帳のコピー (該当する場合のみ)

※いずれか該当する欄の□にレ点を記入

※必ず記入

※大枠内はすべて記入してください(両面とも)

※必ず記入

内容を確認の上、口にレ点を付けてください(7つともにレ点が入っていないと、支給できません)

記載日 令和4年 7月 10日

学校等奨学給付金支給申請書 (兼受給資格認定申請書)

次の申請書を確認のうえ、すべての口にレ点を付けてください (いずれかにレ点が無い場合は、支給できません)。

- この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。
- この申請書に虚偽の記載があった場合は、兵庫県の求めに従いその全額を即時返還します。
- 私は兵庫県以外の都道府県に高校生等奨学給付金(奨学のための給付金)の申請は行っておりません。
- この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費(見学旅費又は特別育成費(母子生活支援施設の高校生を除く))の支弁対象ではありません。
- 私は、私立高等学校等奨学給付金の申請にあたって兵庫県に対して行う手続の一切(申請、請求、受領等)を学校設置者に委任します。
- 私は、学校設置者が兵庫県から受領した私立高等学校等奨学給付金を授業料以外の学校納付金債権に対して、相殺することに同意します。
- 私は、私立高等学校等奨学給付金の申請に必要な範囲において、学校及び兵庫県が保有している当該生徒及び親権者等の個人情報を利用することに同意します。

令和4年度兵庫県私立高等学校等奨学給付金の支給を受けたいので、必要書類を添えて申請します。

申請者住所 〒650-8567 兵庫県 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号  
 ふりがな ひょうご たろう 電話番号 078-3417777  
 申請者氏名 兵庫 太郎 電子メール abcde@xxxx.xx  
 対象生徒との関係  親権者 未成年後見人 未成年後見人である里親 主たる生計維持者  
 生徒本人  その他

平日昼間に連絡の取れやすい番号を記入してください。申請者以外(配偶者等)の連絡先でも構いません。

【対象となる高校生等について】

ふりがな ひょうご じろう 生徒の(昭和) 15年7月1日  
 生徒氏名 兵庫 次郎 生年月日 平成

※上記内容に変更がある場合は

生徒の住所  申請 生徒と保護者の住所が異なる場合、記入してください。なお、その場合生徒の住民票又は在寮証明書が必要です。

生徒が在籍する高等学校等の名称 〇〇県  
 本校所在地 都道府県 〇〇県  
 学校の種類・課程・学科 日制・定時制 通信制・専攻科  
 在学中に給付金を受給した回数 なし 1回 2回 3回 4回 5回 不明

過去の高等学校等の在学状況(該当の場合のみ) 学校名 私立 △△高等学校 平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日  
 学校の種類・課程・学科 日制・定時制 通信制・専攻科  
 在学中に給付金を受給した回数 なし 1回 2回 3回 4回 5回 不明

該当する結果、別の区分となる場合があります。

該当する場合、記入してください。過去に2以上の高等学校等に在籍していた場合、余白又は別紙に記入してください。

基礎額	支給額	課程	県記入欄
52,600円	52,600円	全日制 定時制 通信制 生活保護(生業扶助)受給世帯の高校生等 ※高等学校等専攻科に在籍している生徒を除く	
52,100円	52,100円	通信制 専攻科 令和4年度市町民税所得割額と県民税所得割額の合算が0円の世帯(保護者等全員の合算) 対象生徒が通信制高校、高等学校等専攻科に在籍している	
134,600円	134,600円	全日制 定時制 令和4年度市町民税所得割額と県民税所得割額の合算が0円の世帯(保護者等全員の合算) 下記以外の場合	
152,000円	152,000円	全日制 定時制 令和4年度市町民税所得割額と県民税所得割額の合算が0円の世帯(保護者等全員の合算) 保護者等に扶養されている、 ①2人目以降の高校生等 又は ②15歳(中学生を除く)以上23歳未満の保護者等に扶養されている兄弟姉妹(高校生等を除く)がいる高校生等	

様式第1号(裏面)

【保護者等(専攻科の場合は生計維持者)の収入の状況について】

学校申請用(一般)

おもて面の申請区分に応じて、次の(1)~(3)のいずれかの欄にレ点を入れるとともに、※欄も記入してください。

(1)生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助(高等学校等就学費)受給証明書(7/1現在)を提出します。

①  生業扶助(高等学校等就学費)受給証明書

死別・離婚等により、親権者が1人の場合はこちらをチェックしてください。

(2)次の者の課税証明書等を提出します。

親権者(両親)2名分

①  ※親権者が2名存在する場合、親権者2名分の課税証明書等を提出する必要があります。親権者が1名分(親権者が、一時的に離縁を行う児童相対者)の場合、ア、イ、ウのいずれかの口にレ点を入れます。

ア  離婚、死別等により親権者が1名分となる場合

イ  親権者が1名分となる場合(養育費の支払が滞り、児童の生活に支障をきたしている場合の家庭の事情として、ドメスティック・バイオレンス、養育妨害等の事情が存在する場合は該当します)

ウ  (専攻科のみ)満18歳となる日の前日において里親等に委託されていた場合、児童養護施設等に入所していた場合、そのほか社会的養護が必要と認められる場合は⑤又は⑥にいずれかの口に✓印を付けてください。

未成年後見人( )名分

③  親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合(未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分)(未成年後見人が、法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。)

④  生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者) (両親等) 2名分

生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合

主たる生計維持者1名分

⑤  ・生徒が未成年だが、親権者又は未成年後見人が存在しない場合、  
・入学時点で生徒が成人であったが、主たる生計維持者が存在する場合、  
・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者が1人だった場合、  
・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者又は未成年後見人が存在しなかった場合 等

⑥  生徒本人  
親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合 等

※いずれか該当する欄の口にレ点を記入

(3)次の理由により、課税証明書等を提出しません。

所得確認の対象が生徒本人(親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合)であるが、未成年で市町村民税所得割を課されるだけの収入を得ていない場合

① ※該当する場合、  
※上記(2)又は(3)の場合には、下記内容を確認のうえ、口にレ点を付けてください。

私の世帯は、7月1日現在、生活保護法(昭和25年法律第144号)第36条の規定による生業扶助を受けていません。

生活保護(生業扶助)を受給していない場合、こちらにレ点をいれてください。

23歳未満の兄弟姉妹を記載してください。

内容を確認のうえ、下記の口にレ点を付けてください。

私は、令和4年7月1日現在、下の表に記載の者を扶養しています。

必ずこちらにレ点をいれてください		年齢	職業・学校名・学年等	奨学給付金の申請の有・無	申請額	
兄弟姉妹及び扶養している状況	対象生徒	兵庫 次郎				
	兄弟姉妹	兵庫 一郎	昭和 12年10月10日 (20歳)	〇〇大学	有・無	円
	兄弟姉妹	兵庫 花子	昭和 17年12月12日 (15歳)	□□高等学校	有・無	50,100円
	兄弟姉妹		昭和 年 月 日 (歳)		有・無	円
兄弟姉妹			昭和 年 月 日 (歳)		有・無	円

※必ず記入

※ 対象生徒以外の高校生等については、必ず学校名、学年とともに、奨学給付金の申請内容(申請の有無及び申請額)を記入してください。申請有の場合は、申請書の写し(両面)を添付してください。  
 ※ 「続柄」欄は対象となる高校生等を基準とし該当区分に○を入れ、「年齢」は7月1日現在で記入してください。  
 ※ 対象生徒及び対象生徒以外の高校生等及び15歳以上(中学生は除く)23歳未満の兄弟姉妹を記載してください。  
 ※ 記載した全員分の住民票(在寮証明でも可)及び健康保険証の写し(生活保護(医療扶助)を受けており、健康保険証を有していない場合を除く)を添付してください

<申請前に再度確認し、レ点を入れてください>

記入・押印漏れはありませんか?

添付書類の漏れはありませんか?

住民票

保護者の収入を証明する書類

(世帯全員分)

健康保険証のコピー(生活保護世帯除く)

在学証明書

兄弟姉妹の奨学給付金支給申請書のコピー

通帳のコピー

(該当する場合のみ)